≪「**報告書詳細版**」は巻末の付録USBメモリに収録しています≫

第28部

WIDEネットワークの現状（概要版）

櫨山 寛章、関谷 勇司、TWO WGメンバー

第１章　はじめに

WIDEバックボーンネットワークは国内はもとよりSan Fransico, Losangels, Bangkokなど海外にも拠点（NOC, Network Operation Center）を持つ広大なレイヤー2およびレイヤー3ネットワークである．WIDEバックボーンネットワークは各接続組織の対外接続ネットワークとして活用されるだけではなく，インターネットの新技術を開発している研究者，開発者らの新技術の運用実験の場としても頻繁に活用されている．WIDEバックボーンネットワークの運用はTwoワーキンググループに参加する各NOCの運用者による定常的な運用に支えられている．図1は2015年12月31日現在のWIDEバックボーンの概略図である．

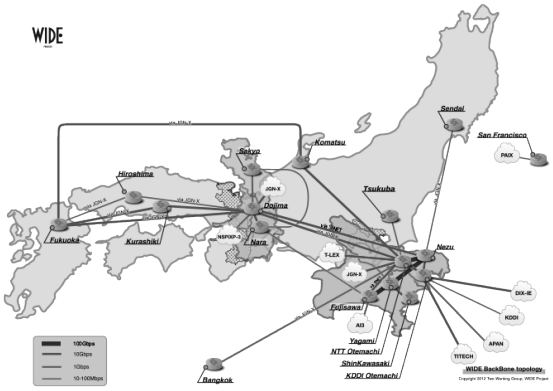

図1.1　WIDEバックボーントポロジ

第２章　本年度の活動

本年度はバックボーンの一部を100Gbps化するなど，大規模な機器変更や設定変更が行われた。

2.1　NOC Update

NTT大手町NOC，根津NOC，矢上NOC，藤沢NOCの間を100Gbps化することで，主要拠点間の100Gbps化を行い，機材や回線のアップデートを行った．その他の各拠点は，例年通り安定運用を行った．詳細に関しては，報告書詳細版を参照していただきたい．

第３章　来年度の活動予定

来年度は，100Gバックボーンの運用実験を本格的に行っていく予定である．